

第3回学校運営協議会

1 日時 令和4年2月24日(木)

※新型コロナウイルス感染症予防のため、書面による開催とする。

2 参加者 学校運営協議会委員 増渕 晴美 大垣 玉枝 下山千恵子 吉田 聡
大橋 義一 諏訪美津枝 五十畑 直 山家 幸勝
隅内 宏(本校校長)
事務局 石島 直(本校教頭) 近江 成美(本校教務主任)
篠崎 陽一(本校地域連携教員)

3 内容 令和3年度学校評価の結果説明と協議(学校関係者評価)

※今回は評価結果、児童・保護者・教職員のコメント等を書面で配布し、書面で意見をいただいた。

お忙しい中、各委員様より貴重なご意見をいただきました。その中で、本校の教育活動が、教職員と保護者の相互理解と協力、地域の支援をもとに営まれ、落ち着いた児童が育っていることに一定の評価をいただきました。また、教職員の日々の努力についても感謝と励ましのお言葉をいただきました。

ご指摘いただいた、「挨拶」「読書指導のあり方」「小中一貫教育の推進・啓発」「『学校が楽しい』の質問に肯定的な回答ができていない児童への対応」「職員間の連携・保護者との情報交換」等についてもしっかりと受け止め、次年度の学校経営に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

○アンケートグラフおよび考察から(p1~8)

- ・授業学習面は安定している。
- ・学校は集団生活の場。学力に差が出るが、生活習慣は規律を守ること、挨拶、係活動などにスランプはなく、できない(やらない)児童には厳しく指導すべきである。教職員評価が低い項目があるが悪いくことでなく課題が見えて今後克服していけばいい。
- ・児童評価で16番「先生は話を聞いてくれる」、17番「先生は自分が努力したことを認めてくれ、頑張るよう励ましてくれる」、18番「先生は人として大切なことを教えている」など、例年高く評価していて、先生の教え方や指導の仕方を信頼している様子が伺えます。
- ・立派な学校評価、読ませていただきました。一、二言記載させていただきます。朝晩の挨拶で、行き交う児童たちとの挨拶で気になるのが子供たちの声が小さくなってきており、中には声が出ないときもあります。コロナ禍の影響と思いますが、今後継続的であるなら、何らかの策が必要だと思います。人が生活するには最初の発声です。大事なことだと思います。
- ・コロナ禍の中、制限を受けながらの行事への取組は厳しいものだったと思います。それでもできる限り児童に寄り添って取り組んでこられた学校現場の姿勢に頭が下がります。挨拶については、根気よく継続して進めてもらいたいと思います。「学校が楽しい」という質問に肯定的な評価ができていない児童がいることを強く受け止めている点にありがとうございます。よろしくお願いいたします。

- ・学校より家庭（身近なこと）面が低いのが気になります。例、朝ごはん、休日の読書、早寝・早起き、身の回りの整頓…。（自分のことは自分でできないのかな、学校ではできるのに。）
- ・家庭学習の取組は、難しいですね。課題への取組はできているようですが、自主的なものとなると、積極性に欠けるように思います。先生方がそれに向けて色々と考えてくださっていることには頭が下がります。アンケート16～20は、関わりのある大切な部分であると思います。「先生が認めてくれる、だから学校に行くのが楽しい」と関連付けられると思います。結果的に子供たちの数値が高いのには安心しました。先生方の子供たちを思う気持ちのあらわれかと思えます。その一方、気になる子供たちの結果があることも忘れないでいただけたらと思います。
- ・子供は、「守っている、やっている。」と書いていても、大人の方がそれを認められないケースがあるんだと感じました。挨拶や言葉遣いは、学校ではもちろんだが、家庭の力、地域の後押しで大人が日常の態度から示し伝えることが一番必要だと思います。
- ・朝の見守り等で挨拶ができなくなっていると感じています。コロナ禍と飛沫の関係でなかなか大きい声でと言えないのですが、児童が積極的に挨拶ができるとよいと思います。清掃をやる児童とやらない児童の差が大きいとのことですが、清掃の大切なところを児童に伝えてほしいです。

○児童のコメントから（p9、10）

- ・児童、保護者ともに先生方の評価が高い。甘んじることなくさらにレベルアップしていただきたい。
- ・評価結果では、挨拶の発声がこの3年間減少してきていることを児童・保護者・教職員がともに認めています。14番「交通ルールを守り、安全に登下校している」の教職員の評価では、登下校時の交通ルールの遵守低下が報告されています。飛び出し防止に注意していこうと思います。
- ・保護者のグラフで5「休日など読書している」、8「身の回りの整理や掃除を進んでいる」が特に低いのが少し気になります。家庭生活の中で保護者が注意して指導することになると思います。
- ・児童の質問5番「朝の読書にしっかりと取り組み、図書室を積極的に利用している」の評価が今後伸びることを期待したい。教職員のコメントで「読書週間でのスタンプラリーのようなものの活用」とあったので、それも一案だと思った。保護者の質問21番「学校は小中一貫教育を推進している」の評価が低いのが気になった。考察や保護者のコメントにもあったように、今後さらに取り組んでいただきたいと思います。
- ・一番気になること、挨拶、毎年話題になりますがなかなかアップしませんね。コロナも影響しているのかしら。子供は子供でがんばっているね。
- ・グラフからほとんどの数値が高い位置にあるように思いました。家読の奨励など先生方が色々と考えてくださっている中、読書の値が低くなっているのが現状です。せめて休日に読書をしてもらえたらと思います。これからの大きな課題であると思います。
- ・子供が学校を楽しんでいると感じ、保護者も先生を信頼していることが分かります。
- ・質問16、17、18が9割以上の高い評価になっているところから、先生とのコミュニケーションがよくとれているのかなと思います。保護者の休日の読書の評価が低いのは、マンガは読書に入るのか？個人的にはマンガも読書に入っていると思います。マンガはふりがながふってあるので、漢字の勉強にもなると思っています。

○保護者のコメントから (p11~16)

- ・ 怒りすぎて恐怖に感じるのはダメ、優しすぎてなめられてもダメ。保護者の反応を常に気にしていると疲れてしまう。バカ発言や言葉を乱して叱るときもあっていいと思う。厳しくも温かい対応、面倒見のよさは児童に伝わっていく。
- ・ よいところにタブレットを通して先生が寄り添っていただけたことに感謝していますと記入しており、今後もタブレットを幅広く活用していただければと思います。
- ・ よいところは日々の学校での対応で子供たちが楽しく生活を送っていることへ感謝が伝わってきます。改善意見や要望は手厳しい声もありますが、率直に意見を言える学校の雰囲気があるようです。それもプラスと考え対応していただけたらと思います。
- ・ 多少、学校側に全部（基本的に生活面）任せる傾向が見受けられる。もう少し周りの子供も見してほしい。（自分の子供のみではなく）
- ・ コロナ禍の大変の状況の中、先生方のご苦労は並々ならぬものであると思います。そのことは、保護者の皆様も分かっていると思います。ですからこれだけのよい点の意見を出してくださっているのです。一方で改善意見も真摯に受け止めることは大切かと思えます。子供たち一人一人の性格は皆違います。大人のその一言によりずっと悩んでしまう子供がいるのが現状です。子供たちは、先生方が大好きなのです。子供たちの心を大切にしてくださいと思えます。
- ・ 保護者からの多々の感謝の言葉には安心させられました。改善点や要望には個人的なご意見も見られますが前向きに対応を。
- ・ 先生方には、夜遅くまで子供たちのために尽力いただき本当にありがとうございます。感謝しております。コロナに対する認識は人それぞれと思いますが、「コロナは風邪と一緒にです。」と考えている人がいること、「子供は重症化しない。」からと考えているのにビックリです。自分はコロナは風邪と違うし子供には辛い思いはさせたくないからです。子供が感染すると自分も感染する可能性があるからです。

○教職員のコメントから (p17, 18)

- ・ 読書の評価があまり上がらないようだが、押しつけても意味がないので、手法を変えたり負担を軽くしたりしてほしい。
- ・ 教職員間の連携がとれていること、素晴らしい。チームとなって先生方が協力し合い一人の児童に多くの先生が関わっている
- ・ 保護者の評価で5番「お子さんは休日など読書している」が低いので、先生の改善案等に「プチ読書感想文を宿題に取り入れる」や「スタンプラリーのようなものを図書バックに入れておく」の記載があり、検討していただければ多少評価が上がるのではないかと思います。
- ・ 職場環境や職員関係が良好であることが感じられます。働きやすい職場が先生方のモチベーションを高めていくので、今後も無理せず自然体でやっていただけたらと思います。教材や必要な用具の管理方法や場所が改善され続けているという点は、日々の負担軽減にもつながる大切なこと。チーム力を感じます。
- ・ 挨拶・・・不安が残る。（生徒ばかりでなく先生方（一部）も挨拶ができない方がいる。）もっと自信をもって向かってほしい。
- ・ アンケートにもあったように、校長先生や教頭先生に相談しやすい、先生方の連携がとれている、教職員同士の雰囲気がよいと言う意見が多かったことに安堵感を覚えました。仕事の内容が増大している中、悩みを抱えることも多いと思います。一人で抱え込まないで、話せる場所があるということはとても重要なことです。先生自身が、学校に行くのが楽しいと思うことは、最も重要なことです。

- ・教師間の連携がスムーズであることは何よりです。先生たちの愛が子供たちに伝わると思われます。
- ・日頃の先生方の尽力により、児童、地域とも連携がとれているようです。また、教職員の雰囲気もよいということは、とても保護者にとって心強いです。

○その他(学校施設面・その他ご意見がございましたらご記入ください。

- ・学校評価の結果から大半の方が東小の学校運営には理解してくれているように思います。児童も楽しく通っているようです。先生方も熱心に指導してくれています。ただ、多様な問題が起きていると思います。何より早期発見、早期対応が解決につながります。引き続き、職員間の連携、保護者との情報交換をお願いします。
- ・今回の学校評価（活動内容が見える）内容について、これだけの自己分析をしていることに感心します。また、分析・評価した結果を関係者全てに公表し活用していくことに期待します。なお、今後続くであろうコロナ禍の中で発生してくる色々な手法・手段も交えての新しい学校運営の研究対象になるものと思います。
- ・コロナ禍、授業、行事等工夫しながら、実施する方向で検討している様子が伺え、先生方の努力に感謝しております。
- ・夏休みに教頭先生や先生が除草作業をしていました。お手伝いできるときに参加したいと思います。
- ・大変なとき、先生方には多分な職務が加わりお察しします。子供に接する時間の取り方、報告書の記入、自己の研鑽等、仕事量増大、身体に気を付けてよろしくお願ひします。できることの協力はできると思います。先生方頑張れ!
- ・日頃より大変お世話になっております。職員間の連携がとれていることは、学校運営に関してとても重要なことであると思います。校長先生はじめ諸先生方に心より感謝申し上げます。自分を出せない、目立たない子供たちにこそ、寄り添っていただけたら幸いです。
- ・コロナ禍で何かと大変なことと思いますが、ひがしっ子がのびのびと6年間、元気に育つよう願っています。